

「紅一点じゃ、足りない。」

(2012年度男女共同参画週間キャッチフレーズ)

男女共同参画事業 各学会での取り組み

1999年に「男女共同参画社会基本法」が制定されて以降、アカデミズムの分野でも広く男女共同参画の取り組みが行われる事となりました。基本法は前文でその精神を「資料1」のように謳い、各学会も21世紀の研究者育成の観点から様々な工夫した事業を展開しています。

日本学術会議においても、2000年6月8日第132会議において「女性科学者の環境改善の具体的措置について(要望)」及び「日本学術会議における男女共同参画の推進について(声明)」が採択され、引き続き応用物理学会、日本化学会、日本物理学会などが中心となって理工学系学協会に呼びかけ、2002年7月19日に男女共同参画学協会連絡会準備会を開催して、12学協会、計29名の参加の下、男女共同参画学協会連絡会を発足させることになりました。現在男女参画学協会連絡会には先の呼びかけ3学会のほか、日本植物生理学会、日本生化学会、日本生物物理学会、日本動物学会、日本バイオイメーシング学会、日本育種学会、園芸学会、日本解剖学会、日本遺伝学会など52学協会が加盟し、更に日本組織細胞化学会、日本細胞生物学会、日本天文学会ほか30学協会がオブザーバー加盟して活動を推進しています(資料2参照)。ここに幾つかの学会の取り組みを紹介します。

【資料1】男女共同参画社会基本法 前文

我が国においては、日本国憲法に個人の尊重と法の下の平等がうたわれ、男女平等の実現に向けた様々な取組が、国際社会における取組とも連動しつつ、着実に進められてきたが、なお一層の努力が必要とされている。

一方、少子高齢化の進展、国内経済活動の成熟化等我が国の社会経済情勢の急速な変化に対応していく上で、男女が、互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現は、緊要な課題となっている。

このような状況にかんがみ、男女共同参画社会の実現を二十一世紀の我が国社会を決定する最重要課題と位置付け、社会のあらゆる分野において、男女共同参画社会の形成の促進に関する施策の推進を図っていくことが重要である。

ここに、男女共同参画社会の形成についての基本理念を明らかにしてその方向を示し、将来に向かって国、地方公共団体及び国民の男女共同参画社会の形成に関する取組を総合的かつ計画的に推進するため、この法律を制定する。

【資料2】男女共同参画学協会連絡会ホームページより



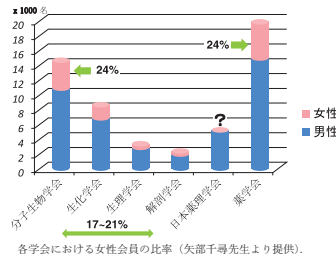
【男女共同参画学協会連絡会 2013年の取り組み】

2013年10月7日には東洋大学白山キャンパスにおいて「多様性尊重社会を目指して 第3回大規模アンケート結果報告より」と題したシンポジウムを開催して、分科会A「女性研究者のポテンシャルを最大限に：問題点と国際比較」や特別講演「ダイバーシティの実現に向けて」(名取はにわ氏：NPO法人日本BPW連合会理事長)などを企画しました。

(内閣府男女共同参画局後援)

日本解剖学会

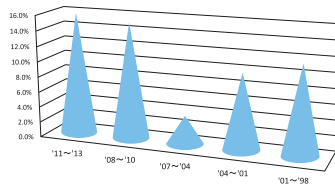
日本解剖学会では男女共同参画推進委員会の取り組みが、大会での「ワークショップ」となり更に機関誌「解剖学雑誌」での特集「男女共同参画の実現に向けて—多様な取り組みに学ぶ—」に結実しました。（「解剖学雑誌」Vol.88 No.4 の特集巻頭にはオーガナイザーの仙波恵美子（和歌山県立医科大学）先生が次の一文を寄稿 資料3】仙波先生はじめ大坪久子先生（日本大学薬学部）、州崎悦子先生（就実大学薬学部）、津森登志子先生（県立広島大学保健福祉学部）、清水千草先生（琉球大学医学部）が寄稿されています。清水千草先生は「子持ち研究者、日本解剖学会男女共同参画ワークショップに参加する」のレポートで「・・・また、女性自身の中に『女性だから』という心の壁をつくらぬようにというお話を射たもので、くさっと心にささるものでありました。」と語られています。特集で資料4】の調査結果が示されました。



【資料4】「解剖学雑誌」Vol.88 No.4 仙波恵美子論文より転載

【資料3】

「・・・紅一点ではやはりお客様扱いで、現実の力にはなりません。また、少数の女性が血のにじむような努力をして指導的地位を得る、そんな時代はもう終わりにしなければ、これからの時代は、全ての男女が、普通に働き、家庭を持ち、自分の能力を伸ばす、そんな社会になっていきますように。少数の女性の『サクセス・ストーリー』はもう要らないのです。・・・『理解からさあ実践へ』(平成22年度のカンファレンス)です。点が線になり、面になっていくことを期待して。」(2013年9月「解剖学雑誌」Vol.88 No.4)



神経科学会の理事に占める女性比率の推移（西真弓先生より提供）。2011～13年は、26人中4人で、15.4%。

日本植物生理学会

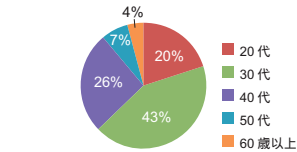
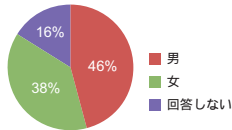
男女共同参画委員長の藤村知子先生は委員会設置の経緯を次のように語っています。

「・・・日本植物生理学会は女性会員比率が22%と比較的高いにもかかわらず、学生会員は37%が女性であるのに一般会員は17%と減少する傾向にあります。・・・今後、科学技術分野における女性研究者の役割が重要性を増すのは間違いありません。女性研究者にも研究成果を発表しやすい環境作りと人材育成とを目標として、2010年度に学会長の委嘱を受け、男女共同参画ワーキンググループが設置され、1年後の準備期間を経て、2011年度に男女共同参画委員会設置に至りました。」

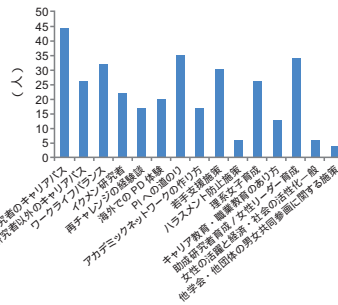
その後委員会は、2012年3月17日第53回日本植物生理学会年会（京都大会）のランチョンセミナーで、「科学を超える情

熱は、ジェンダーを超えて、海を超えて」と題して、第1回男女共同参画キャリアバスセミナーを開催し、先の大坪久子先生と「ノーベルフラウエン・素顔の女性科学者(学術出版センター)」の翻訳をされた田澤仁先生が講演されました。ランチョンセミナーのアンケートでは資料5】の結果を得たほか、次の様な感想も寄せられました。

「バイアスの話に共感した。確かに『よい母親』と『よい研究者』の間で、困惑したり苦しんだりすることがある。講演にもあったように、政府や機関リーダーシップにより解消されるバイアスもあるが、女性自身の意識が変わることによってのみ解消されることがある。」(ランチョンセミナーのアンケートから)



ランチョンセミナー参加者の男女比率、および年代比率



今後取り上げてほしいテーマ

【資料5】日本植物生理学会 男女共同参画委員会ホームページより転載

日本生物物理学会

男女共同参画・若手問題検討委員会がオーガナイザーとなり、それまでの取り組みのまとめとして2013年10月30日 シンポジウム「博士号を取得して多様なキャリアパスを手に入れる」を開催しました。開催概要にはご紹介します。

「・・・今回は生物物理学分野で、[1] 博士の学位を取られた後、企業の研究所に勤められている方、[2] 修士終了後、

公的研究機関に勤務された後に論文博士号を取得された方、[3] 修士終了後、製薬会社に勤務され、博士号取得を目指して会社から大学に派遣されている方について、企業・アカデミアで活躍の男女若手の研究者3名の方をお招きし、それぞれの経歴に基づいて博士号取得の意味について話していただくことを予定しております。・・・」

Book Review

「二人で紡いだ物語」

米沢富美子 [中公文庫: ¥880]

女性として初めて日本物理学会会長に就任し、世界的な物理学者として様々な国際学会を開催主催して猿橋賞・科学技術庁長官賞・ロレアルユネスコ女性科学賞などを受賞した著者の学生時代(京都大学理学研究科)から今日に至るまでの人生の記録。まったく違う世界で働く国際的証券マン=山一証券 お連れ合いとの深い絆のなかで、度々の病魔と闘いながら三人の娘を育て研究を貫いた、かきも激しく情熱的な人生を淡々と語る「物語」は、大切なお連れ合いを失った深い喪失感からの著者自身の再生の記録でもある。 真実の記録であればこそ、感動なくして読めない。本書は日本解剖学会理事長河田光博先生(京都府立医科大学)から薦められた一冊。河田先生も熱いメッセージで本書を語ってくれた。

(編集委員: 井上俊幸)



学会大会・講演会 スケジュール

2014年1月～2014年10月

これらの情報は2013年12月1日現在のものです。今後変更になる可能性がありますので、大会および講演会についてのお問い合わせは各イベントの問い合わせ窓口へお願いします。

● = 日時 ■ = 会場 ▲ = 代表者・テーマ・講師・講演など ? = 問い合わせ先 ☎ = 電話 ☎ = FAX ✉ = E-mail □ = URL

掲載希望は随時受け付けておりますので、ご希望の学協会様は右記のアドレスまでご連絡ください。

連絡/お問い合わせ ito@nacoss.com

2014

January

第2回日本公衆衛生看護学会学術集会

● 12日(日)～13日(月) ■国際医療福祉大学小田原キャンパス
▲会長/荒木田美香子(国際医療福祉大学)テーマ:公衆衛生看護の社会的使命とソーシャルキャピタル?第2回日本公衆衛生看護学会学術集会事務局 ▲非公開 非公開URL <http://jpph.jp> <http://jpph3.jp/japhn/index.html>

電子顕微鏡解析技術フォーラム

● 17日(金) ■名古屋大学 環境総合館 レクチャーホール ▲公益社団法人日本顕微鏡学会・電子顕微鏡解析技術分科会? 責任者:長澤忠広/実行委員長:武蔵俊介 テーマ:「材料の破壊論 EM分析の従来概念を破壊する」? 日鉄住金テック(株)水尾有里? 0439-80-2691 ☎ 0439-80-2767 ☎ mizu-yuri@nss.jp ☎ <http://www5.ocn.ne.jp/~denken1/>

February

第32回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会

● 6日(木)～8日(土) ■ホテルセント徳島 ▲会長/武田憲昭(徳島大学大学院耳鼻咽喉科学分野)? 徳島大学大学院耳鼻咽喉科学分野 第32回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会運営事務局 ▲088-633-7169 ☎ 088-633-7170 ☎ jiao32@clin.med.tokushima-u.ac.jp ☎ <http://jiao.uamin.jp/32nd/>

環境資源工学会第28回シンポジウム

● 27日(木) - ▲新橋住友ビル大会議室(東京都港区新橋) ▲実行委員長/広吉直樹(北海道大学)テーマ:「リサイクルのための選別処理技術」? 環境資源工学会事務局 ▲075-415-3661 ☎ 075-415-3662 ☎ rpsj@nacoss.com ☎ <http://www.nacoss.com/rpsj/>

March

日本顕微鏡学会バイオメディカルニューマイトスコープ分科会シンポジウム講演会

● 6日(木) ■帝京大学板橋キャンパス(医学部臨床大講堂) ▲シンポジウムテーマ:新たな挑戦 限界を超える顕微鏡/特別講演:橋本 守(大阪大学)/川田善正(静岡大学)トピックス:光の可能性? 東海大学伊勢原研究推進部教育・研究支援センター細胞部門 伊東丈夫 ▲0463-93-1121 内 2581 ☎ 0463-91-1370 ☎ itohj@is.icc.u-tokai.ac.jp

言語処理学会第20回年次大会

● 17日(月)～21日(金) ■北海道大学 ▲大会委員長/菊井玄一郎 ☎ nlp2014-inquiry@googlegroups.com ☎ <http://www.anlp.jp/nlp2014/>

第55回日本植物生理学会年会

● 18日(火)～20日(木) ■富山大学五福キャンパス ▲年会委員長/山田恭司(富山大学) ▲075-415-3661 ☎ 075-415-3662 ☎ jpp2014@nacoss.com ☎ <http://www.jspp.org/toyama/>

日本育種学会第125回講演会・第64回総会(平成26年度春季大会)

● 21日(金)～22日(土) ■東北大学 ▲大会運営委員長/西尾剛氏? 日本育種学会第125回講演会運営委員会 ☎ jsb_125@nacoss.com ☎ <http://www.nacoss.com/jsb/06/06gaiyou.html>

日本発達心理学会第25回大会

● 21日(金)～23日(日) ■京都大学百周年記念館・吉田南キャンパス ▲大会委員長/板倉昭二 テーマ:発達する発達心理学 未来と創る 大会委員会企画講演:基調講演/宇安増生(日本発達心理学代表理事・京都大学教授);海外招待講演(Aiison Gopnik, Fei Xu・大会委員会企画シンポジウム:「新たな「発達」の学」を目指して。「次世代と創る発達心理学」日本学術会議・発達心理学分科会企画公開シンポジウム「幼児期からの早期教育 誤解と弊害」など? 第25回大会サポートデスク ☎ jsdp25@nacoss.com ☎ <http://www.jsdp.jp/conf2014/index.html>

SFRR12014

● 23日(日)～26日(水) ■国立京都国際会館 Chairs/Yuji Naito, Shinya Toyokuni ☎ <http://www.sfrri2014.org>



第119回日本解剖学会総会・全国学術集会

● 27日(木)～29日(土) ■自治医科大学キャンパス・地域医療研修センターおよび教育・研究棟 ▲会頭/歴代 隆(自治医科大学医学部解剖学講座 組織学部門) テーマ: Anatomical Scienceの飛翔? 自治医科大学医学部解剖学講座 組織学部門 橋本 守 下野市薬師寺 3311-1 ☎ 0285-58-7314 ☎ 0285-44-5243 ☎ anat119@jichi.ac.jp ☎ <http://www.jichi.ac.jp/anat119/index.html>

園芸学会平成26年度春季大会

● 29日(土)～30日(日) ■筑波大学第2エリア・第3エリア ▲大会実行委員長/江面 浩(筑波大学)? 園芸学会平成26年度春季大会事務局 ▲029-853-4790 ☎ 029-853-4790 ☎ jsbs2014@gmail.com ☎ <http://www.jsbs.jp/>

日本雑草学会第53回大会

● 29日(土)～30日(日) ■法政大学小金井キャンパス ▲大会運営委員長/長田敏行(法政大学生命科学部)? 大会運営委員会 〒184-8584 東京都小金井市権町3-7-2 法政大学生命科学部応用植物医学分科 ▲042-387-6141 ☎ 042-387-7184 ☎ conf2014@vssj.jp ☎ <http://vssj.jp/>

May

第 51 回日本小児外科学会学術集会

● 8 日(木) ~ 10 日(土) ●大阪国際会議場(グランキューブ大阪)
● 会長 / 清田吉則 [特別講演]山中伸彦教授(京都大学 iPS 細胞研
究所所長)「iPS 細胞研究の現状と再生医療に向けた取り組み」文化講
演]安藤忠雄氏(安藤忠雄建築研究所、前東京大学教授)「感性を磨
け。」? [運営事務局]〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13 一般社団
体人 学会支援機構内 ☎ 03-5981-6011 ☎ 03-5981-6012 ☒ jsp51@
asas.or.jp ☒ http://www.asas.or.jp/jsp51/index.html



日本顕微鏡学会第 70 回記念学術講演会

● 11 日(日) ~ 13 日(火) ● 幕張メッセ国際会議場 ・市民公開
講座 5月10 日 東京大学伊藤国際学術研究センター ● 実行委員長 /
堀原雄一(東京大学)副実行委員長 / 吉川雅英(東京大学) 市民
講座: 講演者/タン/シェヒマン 博士(イスラエル工科大学,2011 年ノ
ーベル化学賞) 藤波 啓一 教授(大阪大学,2012 年日本学士院賞)
[学術講演会]装置系、材料系:「超高分解能イメージングがもたらす新
時代 - 収差補正電子顕微鏡の最新線 -」「地球惑星物質の顕微鏡観察 -
はやぶさ試料から放射能汚染まで -」「世界結晶年企画: 電子顕微鏡に
よる精密結晶構造解析 - 高精度化への挑戦 -」ほか 生物系:「医学・病
理の研究のために必要な電子顕微鏡技術」「ナノメートルレベルの新しい
光学顕微鏡」「超高速カメラ技術」ほか? 公益社団法人 日本顕微鏡
学会事務局 ☎ 03-5389-6640 ☎ 03-3368-2822 ☒ jsm-post@microscopy.
or.jp

農業情報学会 2014 年度年次大会 25 周年記念大会

● 14 日(水) ~ 15 日(木) ● 東京大学弥生講堂 ● 大会実行委員長 /
新潟大学・中野和弘

第 115 回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会

● 14 日(水) ~ 17 日(土) ● ヒルトン福岡シーホーク ● 会長 / 小宗静男
(九州大学大学院医学研究科耳鼻咽喉科分野) 審題報告 / 長崎大学:
高橋晴雄教授「換気能から見た中耳疾患の病態と治療」/ 千葉大学: 岡
本美季教授「上気道粘膜の免疫応答とその治療応用 - アレルギー性鼻
炎と頭頸部がんに対して -」? 第 115 回 日本耳鼻咽喉科学会総会・学
術講演会 運営事務局 ☎ 03-3496-6950 ☎ 03-3496-2150 ☒ jnhka115@
gakkaikai.co.jp ☒ http://www.gakkaikai.co.jp/jnhka115/index.html

第 39 回日本骨髄腫学会学術集会

● 17 日(土) ~ 18 日(日) ● 掛川グランドホテル / TEL.0537-23-3333
(代表) http://www.kakegawagh.com/index.html ● 会長 / 名倉 英一(掛
川市・袋井市病院企業団 中東遠総合医療センター企業長兼病院長)
テーマ:「骨髄腫治療の State of the Art を考える」? 運営事務局: 日
本コンベンションサービス中部支社(内) 担当: 近藤正伸 ☎ 052-957-2131 ☒
052-954-2355 ☒ 39jsm@convention.co.jp ☒ http://www2.convention.
co.jp/39jsm/index.html

第 84 回日本衛生学会学術総会

● 25 日(日) ~ 27 日(火) ● 鳥岡山コンベンションセンター ● 学術総会
長 / 大槻剛巳 特別講演 Di Giocchino 教授(イタリア)その他: 作家
「村上龍」氏のロングインタビュー「健康科学-予防医学を語る」? 第 84
回日本衛生学会学術総会 運営事務局 ☎ 086-250-7681 ☎ 086-250-
7682 ☒ jsh84@wjs.jp ☒ http://www.convention-w.jp/jsh84/index.html

第 115 回日本医史学会総会・学術大会

● 31 日(土) ~ 6 月 1 日(日) ● 九州国立博物館 ● 会長 / ヴォルフガ
ング・ミヒエル? 第 115 回日本医史学会総会事務局 〒813-0025 福岡
市東区青葉 6 丁目 40-1 厚生井病院地域連携室 ☎ 092-691-3886 (直通)
☎ 092-691-3961 (直通) ☒ region@harado-hospital.com/cc/wolfgang.
michel.japan@gmail.com ☒ http://jsmh.umlin.jp/congress.html

June

粉体粉末冶金協会平成 26 年度春季大会(第 113 回講演大会)

● 3 日(火) ~ 5 日(木) ● 早稲田大学 国際会議場

日本語学会第 148 回大会

● 7 日(土) ~ 8 日(日) ● 法政大学? 日本語学会事務局 ☎ 075-
415-3661 ☎ 075-415-3662 ☒ tsj@nacoss.com ☒ http://www3.nacoss.com/tsj/

第 66 回日本細胞生物学会大会

● 11 日(水) ~ 13 日(金) ● 奈良県新公会堂 ● 大会長 河野憲二
(奈良先端科学技術大学院大学) ☒ http://www.aeplan.co.jp/jsctb2014/

第 64 回日本電気泳動学会シンポジウム

● 28 日(土) ● 文京学院大学本郷キャンパス ● 世話人: 飯島史朗 ●
メインテーマ: 臨床検査技術の進歩: 10 年後に向けた技術革新と新たな分
析ターゲット

環境資源工学会第 132 回例会

● 5 日(木) ~ 6 日(金) 未定 ● 関西大学? 環境資源工学会事務局
☎ 075-415-3661 ☎ 075-415-3662 ☒ rpsj@nacoss.com ☒ http://www.
nacoss.com/rpsj/

July

第 61 回日本病跡学会総会 [The 61st Annual Meeting of Japanese Association of Pathology]

● 12 日(土) ~ 13 日(日) ● 東京慈恵会医科大学 大学 1 号館 3
階・5 階・6 階 講座 ● 中山和彦(東京慈恵会医科大学 精神医学講
座 教授) テーマ: 癌・菌・免疫を軸に「5 度年たつたら帰ってくる」
? 東京慈恵会医科大学 精神医学講座 ☎ 03-3433-1111

August

第 39 回組織細胞化学講習会

● 6 日(水) ~ 8 日(金) ● 講演講習: ピアザ深海 滋賀県立県民交
流センター ピアザホール 技術講習会 Wet Lab: 滋賀医科大学キャン
パス(滋賀県大津市瀬田月輪町) ● 実行委員長 / 滋賀医科大学分子神
経科学センターセンター長・教授 遠山由夫 テーマ: じつじつ学ぶ
組織細胞化学の基礎と応用そして未来? 第 39 回組織細胞化学講習会
事務局 〒520-2192 大津市瀬田月輪町 滋賀医科大学分子神経科
学研究センター 神経難病診断学分野 ☎ 077-548-2331 ☎ 077-548-
2331 ☒ info_39kjsch@nacoss.com ☒ http://www3.nacoss.com/kjsch/

September

2014 年度日本哺乳類学会大会

● 4 日(木) ~ 7 日(日) ● 京都大学(京都市京都市) ● 会長 / 原田
正史(大阪市立大学)

第 2 回日本耳鼻咽喉科感染症・エアロソール学会総会・学術講演会

● 5 日(金) ~ 6 日(土) ● サピオタワー 東京ステーションコンプレ
クス ● 会長 / 吉原俊雄? 運営事務局: 〒162-8666 東京都新宿区河田
町 8-1 ☎ 03-3353-8111 ☎ 03-3269-7351

日本グループ・ダイナミクス学会第 61 回大会

● 6 日(土) ~ 7 日(日) ● 東洋大学 ● 大会委員長 / 安藤清志

第 66 回日本生物工学会大会

● 9 日（火）～ 11 日（木）■札幌コンベンションセンター■大会実行委員長 / 高木 睦（北海道大学大学院工学研究院・教授）？公益社団法人 日本生物工学会

日本科学教育学会第 38 回年会

● 13 日（土）～ 15 日（月）■埼玉大学教育学部校舎・大宮ソニックシティ■大会実行委員長 / 清水誠？日本科学教育学会第 38 回年会実行委員会

日本生物物理学会第 52 回年会

● 25 日（木）～ 27 日（土）■札幌コンベンションセンター■年会実行委員長 / 川端和重（北海道大学大学院先端生命科学研究院）

第 53 回日本鼻科学会総会および学術講演会

● 25 日（木）～ 27 日（土）■コングレコベンションセンター（グランフロント大阪）■第 53 回会長 / 友田幸一（関西医科大学）？第 53 回日本鼻科学会総会・学術講演会事務局〒573-1010 大阪府枚方市新町 2 丁目 5 番 1 号関西医科大学耳鼻咽喉科・顔頸部外科内 ☎ 072-804-0101 □ 072-804-2069

第 28 回日本音声学全国大会

● 27 日（土）～ 28 日（日）■東京農工大学小金井キャンパス■大会運営委員長：御園生保子

第 55 回日本組織細胞化学会総会・学術集会

● 27 日（土）～ 28 日（日）■松本市中央公民館（Mウイング文化センター）■会長 / 中山 淳（信州大学大学院医学系研究科分子病理学講座）？事務局 〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1 信州大学大学院医学系研究科分子病理学講座 ☎ 0263-37-3395 □ 0263-37-2581 □ jschc55@nacos.com ■ http://mjshc.nacos.com/



第 11 回日中合同組織細胞化学セミナー

● 28 日（日）～ 29 日（月）■松本市中央公民館（Mウイング文化センター）■コーディネーター / 伊東丈夫（東海大学伊勢原研究推進部教育・研究支援センター）？事務局 〒259-1193 神奈川県伊勢原市下糟屋 143 ☎ 0463-93-1121 E:2581 □ 0463-91-1370 □ cjisshc2014@nacos.com ■ http://www3.nacos.com/cjisshc/

第 64 回地域農林経済学会大会

●未定■京都府立大学（京都府京都市）□ http://a-rafu.org/

October

第 65 回日本電気泳動学会総会

● 24 日（金）～ 25 日（土）■横浜情報文化センター■総会長 / 平野久（横浜市立大学）メインテーマ：最新の電気泳動技術 30 の話題

学会の風景

【鹿児島】

10月12日 - 開催された第124回日本育種学会講演会 | 鹿児島大学 / 大会長：佐藤宗治先生 | の会期中には桜島が大噴火して市内を噴煙が覆いました(右写真)

【福井】

9月26日 - 開催の第52回日本鼻科学会総会の会員懇親会の一場面です。なかなか食べ難いお料理ではあります(左下写真)。会場の福井市は路面軌道の民鉄の宝庫です。写真は会場前を通る福井鉄道の路面風景です。マニアにはたまりません(右下写真)



学会開催の最中、大噴火する桜島

編 ◆ 集 ◆ 後 ◆ 記

② 015 年京都をメインに大阪・神戸を含めて第 29 回日本医学学会総会・関西が開催されます。[会頭：井村裕夫先生] 1991 年第 23 回総会が京都で開催された時は、記録委員会小川和朗先生の下、Proceeding 集の編纂を担当しました。執筆者 1200 名・3 分冊・総 1800 頁を 2 年がかりでまとめ出版しました。若かりし日の思い出です。(編集リーダー / 井上)

③ 日、北野天満宮のみみじ苑に行ってきました。ライトアップも悪くありませんが、やはり紅葉は陽光の下で見る方が映えると思えました。それでも賑やかな比較には違いありませんね。(DTP 課 / 志水)

④ 車を駆け抜けるにしても、来年の干支の牛のように軽やかに美しくありたいですね。実際は.....。(学会部 / 系魚川)

毎 年言っているように思うけど、またあつと言う間に 1 年が過ぎてしまった。1 年経ったらさすがに落ち着きますよねーと言いながら新規の仕事を受けたのにそれから落ち着くことなく早 2 年。仕事があるのは良いことのはずなのに、泣けてきます。(編集校正課 / 島田)

年 度末。どちらも忙しいではないでしょうか。京都は底冷えの季節。皆様お体を付けて下さい。(プリプレス課 / 藤木)

寒 い日が続いており、早くも完全冬装備となつてしまいました。これ以上、何をすればいいのか...この先が心配です。2014 年も良い年となりますように。(学会部 / 宇野)

今 年も残り僅かです。寒い日が続く中、風邪などひかれませんように今年もお過ごしください。(DTP 課 / 中村)